

小田原史談

第281号
発行所 小田原史談会

小田原ご当地物語り 青物町(その4)

「清風楼」

—小津安二郎と川崎長太郎 恋のバトルの舞台—

荒河 純

はじめに

松原神社の膝下にある小路を中心とした宮小路は、かつては小田原随一の繁華街であった。

戦前には映画館、劇場、呉服店、小間物屋、料理屋、カフェ、芸者

置屋などが軒を連ねていた。

この宮小路には料亭として「清風楼」「春日」「榊金」「弥生」などがあつたが、現在残っているのは「清風楼」のみである。

私は青物町商店街の一つでも

あるこの老舗料亭「清風楼」を訪れ、これまでの歴史をうかがった。

その中で、戦前から戦後にかけて、わが国映画界にあつて数々の名作を残した小津安二郎監督が度々この「清風楼」を訪れていたことに興味を覚えた。小津は或る芸妓に会うために、蒲田や大船から小田原まで通ってきたのである。

小田原出身の作家、川崎長太郎も同じ芸妓と面識があつたことから間もなくこの関係を知り、ほぼリアルタイムでこれを小説化して発表した。三面記事的なこの内容に自分自身のジェラシーを緬い交ぜにして私小説化することで、川崎文学の真骨頂を表現して見せたのである。

「清風楼」を舞台に一人の芸妓をめぐる繰り広げられた、「一流芸術家」小津安二郎と「三文小説家」川崎長太郎の恋のバトルを追ってみた。

昭和十年頃の小田原と宮小路

宮小路は松原神社の門前を東西に走る小路で、明治期後半以降市内随一の繁華街として栄えた。料亭や旅館などが集まり多くの芸者が在籍する賑わいぶりであつた。

明治二十年に東海道線が国府津まで延びると、小田原は別荘

二百八十一号(令和七年四月号)

目次

小田原ご当地物語り 青物町(その4)

「清風楼」 荒河 純…… 1

一丁田宝安寺の太子像の由来 青木 良一…… 8

京都・丹後半島の聖徳太子像 穴倉 正弘…… 11

小田原ご当地物語り 青物町(その5) 青物町のステーキ店「牛鉄 勝蘭」です 話し手 土屋 和也さん…… 12

小田原ご当地物語り 青物町(番外編) 松原神社前でゲストハウスを始めて七年 話し手 中村 力弥さん…… 14

スケッチ川柳 宍戸 忠夫…… 17

小田原史談会 古典講座 「源氏物語」に因んだ継ぎ紙講座 講師 堤 千恵子氏…… 18

「伊能忠敬測量隊」が歩いた道 加藤 雅喜…… 20

小田原史談会 令和七年「初詣」 遠江一宮「小國神社」と掛川城址・大 日本報徳社・高天神城址を巡る 諸星 幸雄…… 23

「〇つと近たび」にはじめて参加して 三島神社(大井町)から 曾我丘陵の薬師仏を訪ねる 神崎谷 行雄…… 26

新会員紹介 …… 13

会員募集 …… 13

特別賛助会員・落穂集 …… 28